

ながの環境パートナーシップ会議
平成22年度第11回幹事会 会議記録

日 時 平成23年3月10日(木)18時10分から20時40分

場 所 会議室16(市役所第二庁舎9階)

出席幹事 6人

(弓場、金井、高木、渡辺、安藤、水野)

欠席幹事 1人

(中村)

会議内容

《協議事項》

- 1 長野市総合計画後期基本計画の策定における主な取り組みと注釈の内容について
後期計画の中の「主な取り組み」の訂正案について検討し、案のままで良いということに決定した。また、パートナーシップ会議の「注釈」については、
「市民・事業者・行政が連携し、協働のもとに環境共生のまちづくりに取り組む組織」とすることで合意がなされた。
- 2 信州エコ大賞について
添付の資料を長野県環境保全協会北信支部に提出することが承認された。
* P会議の年度が6月から5月なので、22年度の活動人数などがでておらず、21年度の内容の資料を出すことを推薦書に記入する。
- 3 太陽チームの「風の学舎等」視察について
企画書の内容について、承認された。特に、メガソーラーの長野での設置が可能かどうかについて、お話を聞いてきてほしいという意見があった。詳細は **主な意見・質疑等**参照。
- 4 新入会員パックの内容について
内容について確認。プロジェクトチームの活動紹介例の写真を載せる。見積もりをもらった「オフィス・エム」にレイアウトなど今後相談していく。
- 5 キャラクターデザインの募集・審査について
審査要領について再度検討、決定。特別審査員とかかる費用の予備費からの流用について承認。応募作品が少ないため、募集方法について見直した。詳細は **主な意見・質疑等**参照
- 6 運営方針案・予算編成方針案・書式・スケジュールについて
運営方針・予算編成方針案について再度検討。活動報告書・活動計画・予算書の書式、予算作成・総会までのスケジュールについても検討した。詳細は **主な意見・質疑等**
- 7 平成23年度総会について
総会の日時・場所・開催内容について検討した。6月4日午後2時から5時でサンパルテ山王を予約した。その後、懇親会を同会場で行う予定。
- 8 ニュースレター 23の企画案について
企画案について承認された。

9 新入会員承認

2名について承認された。

《報告事項》

光害対策プロジェクトチームの市への照会について
2箇所訂正し、長野市体育課長あて提出する。

プロジェクトチーム活動報告
(トレイ・レジ使用削減、市民の森づくり)
活動記録票により報告

ライトダウンキャンペーン報告
夏と冬の活動報告と会計報告

太陽チームの要望書提出
要望書提出し、窓口での対応でのみエコシールの配布をすることに決定したことを報告。

豊かな環境づくり長野地域会議入会
入会した旨の報告

信州大学工学部地域環境演習実施について
工学部から実施をしたい旨の連絡があり、チームへの受入についてチームリーダーに連絡することを報告した。

今後の日程等

- 1 キャラクターデザイン募集締切 3月21日(状況によって伸ばす可能性あり。)
- 2 第12回幹事会
- (1) 日時・場所：4月5日(木)18:00～ 会議室16(市役所第二庁舎9階)
- (2) 内容：キャラクターデザイン第一次審査、震災支援、23年度行動計画・予算ほか。
- 3 4月8日(金)キャラクターデザイン会員投票開始(予定)
- 4 4月18日(月)H22活動報告書・H23活動計画・予算書提出期限
- 5 4月22日(金)キャラクターデザイン会員投票期限
- 6 4月26日 第13回幹事会 予算査定など(予備日4月27日)
- 7 5月末ころ 第14回幹事会 総会資料確認・予算案決定など
- 8 6月1～3日 会計・事業監査
- 9 平成23年度総会 (23年6月4日土曜日を予定)

主な意見・質疑等

- 1 長野市総合計画後期基本計画の策定における主な取り組みと注釈の内容について
 - ・ より具体的になったということか
文末が変わっている。「～創造に向けて取り組みます。」から「～創造に向けて環境対策の充実を図ります。」となっている。
具体的な取り組みにつなげようという意味なのか。
P会議の組織もかわり、これからまた会員の意識も変わっていくなかで、このように積極的なことを載せてもいいかどうかは、幹事会に確認してほしいという意見があった。
会員のモチベーションが下がっていることを懸念しているのかも。
私たちのチームは今年も意欲的に取り組んでいこうとしている。大いにこういう表現でやっていただけたらいい。
他のチームの皆さんにも、ぜひこういう感じでやっていただければ。では、この内容で良いということとしたい。 承認

- ・ 注釈について、「率先・実行する組織」と限定するのはどうなのかという意見が後期計画のワーキンググループ「市民フォーラム21」からあった。内容について検討いただきたい。
 - 率先・実行する組織というだけでなく、おおもとの「つなぐ役割」も果たせということか。どういう表現だといいか。
 - 注釈だから、あまり長くなくてシンプルなものがいい。
 - 「まちづくりに取組む組織」ではぼけすぎか。
 - あまりここではっきり言わなくてもいいと思う。要は、パートナーシップ会議が何なのか分かれば。
 - 「協働」がポイント。三者の協働というのが伝わればいい。
 - あと、環境というのが入っていれば。
 - では、「～まちづくりに取組む組織」として、今後またご意見あれば出していただくとする。
 - あまり期間は無いのだが、修正はきくのでどうしても、というものがあれば言っていたきたい。

2 信州エコ大賞について

- ・ これはそもそもどういう経緯で出すことになったのか。
 - 会員から出したらどうか、という話があった。
 - 過去の表彰の団体をみると、P会議よりも小さな団体が受賞している。
 - 提出資料は、設立からいままでの経過と21年度の活動報告、新聞記事とした。
 - 副賞はなにかあったか。
 - 賞状と副賞があるが、副賞が何かは資料に書いていない。
 - 21年度について書いてあるので、「ながの環境パートナーシップ会議は5月までを年度としているため、現在22年度の活動報告書などは出来ていませんので以下に21年度の資料として添付します。」というようなことを入れたいほうがいいと思う。
 - 了解。

3 太陽チームの「風の学舎等」視察について

- ・ 予算自体は充分足りるが、旅費がからむので幹事会に出したということか。
 - そのとおり。
 - せっかく行かれるならば、おひさま進歩でどんなシステムでやってるのか聞いてきたら良いのでは。
 - チームでは、そのつもりである。
 - 幹事の中で行く人はいるのか。
 - 幹事ではこのチームに入っている人はないが、行けたら行ってみたい。
 - せっかくなのでお願いしたいのは、長野市内で遊休農地でなくてもいいが活用して設置ができるか検討し提案したい、とあるが、ぜひ提案してほしいと思うが、メガソーラーを設置するということは、費用対効果で中電にメリットがあるからやるのだと思う。長野に持ってこれるのか、という眼で是非見ていただきたい。用地を飯田が提供したと聞いているが、それだと用地購入費はいらない。長野と飯田では発電量や日照時間の違いはあるが、なぜ飯田になったのか。長野では出来るのか。土地が用意できるかはまた別だが、その辺をお聞きできれば。中電はいろいろ調べたうえで飯田にしたと思うので。
 - 農業公社の人とかは行かないかな？
 - そこまではまだ。もうちょっと具体化しないと。
 - (太陽チームの)田中さんはずっと太陽エネルギーに取組まれていて、壁や屋根に黒塗りの温室をつけることもしていたが、長野市近辺ではうまくいかなかった。ローコストでいいのだが。
 - 冬場なんかは雪がふれば全然だめ。そのへん、飯田と格段の差があれば。
 - 10%も変わらないのではないかと思う。冬場でも。夏場は長野のほうが暑い。
 - 飯田は夏は日照時間は若干長くて気温は低い。冬は雪が無い。明らかに飯田のほうがメリットはある。ただ、会社としてのコマーシャルを考えると、長野のほう

がメリットはあると思う。長野でも、大勢が集まる施設につけるとか、その近くにつけるとかすれば、飯田よりも発電が多少悪くても、全国的にみれば良いところなので、つけられると思う。

行くときは大型の車を借りていくのか。

自家用車で分乗していく。

すると、高速代は2台分かかる。

そのとおり。訂正する。ガソリン代ももう少しかかると思われる。

4 新入会員バックの内容について

- ・今の内容だと字がとても多い。キーワードになるような文字をポンポンと入れれば良い。

会則は銀行の約款みたいのでいいのでは。

半ページ使う必要はないと思う。四分の一くらい。その分違うものをいれたい。

これはスケジュール的にはどうなっていたか。

総会で配るのでそこがゴール。キャラクターが決まるのは5月なので、まだ時間はある。この内容でレイアウトを作ってもらって、校正していくなかで意見をいただければと思うが。

そのほうがイメージが湧く。

大事なのは、載せなければいけない情報が載っているかということ。これでいいのか。

2ページ目の下の部分はどうか。

これは、前は組織図で名前まで入れて作っていた。出来ればこんな図にしたい。

ながの環境パートナーシップがどんな組織でどんな風に運営されているかがビジュアルで分かるように出来れば。

これは募集ちらしならば入会申込書をいれたほうがいいのでは。

募集というより、P会議で何なの？と聞かれたときに答えられるものとして作る。

いろいろ兼ねられるもの。

ぱっと直感的に分かるものにしないと。読みたい人は読んで、という感じで。

どういう活動をしているのか分かったほうがいい。自分の興味がある活動があればその先は問い合わせすればいい。

プロジェクトチームの活動を絵で書けないか。街の絵があって、各チームの活動がどこに関わっているのか分かるような。

どちらかという、活動の写真を載せたほうが効果があると思う。自分がこういうことが出来るんだというイメージがつかめる。

太陽光であればソーラーッキングの写真とか。

チームの活動紹介でなく、P会議に入るとこんな活動が出来るという事例紹介。

絵でやるとすると、キャラクターと競合する可能性がある。

では、次回の幹事会の前に、メールで何を載せなければいけないかを意見をもらって、幹事会でまた検討する。

サブビジョンとテーマが分かりにくい。現在のプロジェクトチームの紹介をのせたほうが分かりやすい。

我々が伝えたいものはこれなんだけど、見るほうからすると、今興味のあるものに飛びつく感じだと思う。山の木を切っているのを見て市民の森とか。

力を入れてP会議の広報や会員獲得をするなら、予算を割いてプロに作らせないとだめだと思う。

資料を渡して、意向を伝えて、2種類くらい作ってもらってもいいと思う。

では、今日の意見を反映したものをみなさんにメールでお送りし、オフィス・エムにたたき台を作ってもらうことにする。

5 キャラクターデザインの募集・審査について

- ・会員の投票について、会員は現在110名ほどいるが、5人、10人の投票しかなかった場合をどうするか。

チームごとでプッシュしてもらえば、そんなことはないのではないかと。

会員にそんなに負担になることではないし、今回は過半数に達しないとだめだとかというのは必要ないと思う。

では、事前にチームを通じて投票を呼びかけるということにしたい。

同数の場合はどうするか。

その前に、幹事は投票権があるのか。投票権をなくして、みんなの投票の後にわたしたちで最終決定するということにしとけば。

同数の場合は最終決定を幹事会で、でなく、最終決定は幹事会で、ということのほうがいいのでは。小林特別審査員からいろいろな話を聞いていて、ぎりぎりの投票数になったときに、最終判断ができる余地を残しておいたほうがいいのでは。

同数のことを考えないのであれば、幹事に投票権があっても関係ない。

ただ、最終決定が投票内容と変わるのであれば、よほどの理由がないと。版權の問題があるとか。

- ・応募者を増やす策について、新聞には載せたか。

週間長野には載せた。

21日の期限を延期するのはどうか。

このまま待ってるなら伸ばしても意味が無い。高校の漫画部とかに直接依頼をすとか、美専とか。それが出来るなら待つことも意味がある。

高校はもうお休みなのでは。

小・中学校に配っているえこねくしょんには載せた。

では、えこねくしょんのデータをもらえれば、それを流してみる。

ポラセンの掲示板とか、ぷらっととか、ナガプロとかで流してみる。

期限はどうするか。もう締切は公表しているので延ばさないほうがいいか。

出来るだけ期限までがんばって、今から案内する人には伸ばす方向でお伝えするか。

応募いただいている方には期限を伸ばすことを断りを入れるようにする。

市役所職員にもお知らせして出してもらえれば。(これは、市役所の職員全員で見るパソコン上でのお知らせ欄でお知らせしました。)

6 運営方針案・予算編成方針案・書式・スケジュールについて

- ・このプロジェクトチームの活動費の支出については、現実には支出がされていないということなのか。

運営費以外は立替払いしたものもその都度請求いただいているので、実際に支出されていないと思われる。ただ、これから出てくるものは結構あると思われる。市民の森も春にイベントがあるし、ウエザーステーションも機材を購入して、今月取り付ける予定。その分はここに入っていない。

- ・P会議全体のお金はこのくらいで推移しているのか。

広報・管理費についてはそう。

- ・幹事会全体で何かやろうとするときに使えるものは予備費か。

そのとおり。

- ・このプロジェクト活動費の中には運営費も全て含まれるということでもいいか。平均で約11万円。

そのとおり。

チームの運営費は今いくらか。

今はチームごとで違う。

それでは、プロジェクトチーム活動費枠はこの額でチームリーダーにお知らせする。

- ・スケジュールについて、査定をするときに、紙で上がってきたものを査定するだけではまずいと思うがいかがか。ヒアリングせずにカットするのはまずいのでは。どのようにするか。

先に幹事会で見ておいて、ここはもともと予算も少なくて疑義も無いというのものもあるだろうし、来てもらったほうがいいものもあるだろうから、まず、書類を見て、この日に来て欲しいと伝えるのはどうか。

8日に書類が上がってくるので、それをメールで送ってもらい、それで来てもらうか判断して、18日か25の週に来てもらう。(25日が地域演習のガイダンスなので、26日とした。)

このスケジュールがチームリーダーに送るものなら、4月26日も幹事会として入れておいていただければ。

- ・ 総会でしか決められないことがあるので、会則の変更とか、もしあればあげてもらいたい。あと、P会議全体での行動計画やイベントなどがあるが、監事から重い指摘がきていて、それに対応しないといけないのだが、そのへんも詰めなければいけない。少なくとも、来年度の事業計画では、どのように対応していくのかははっきりさせないといけない。それをどのようにすすめるか。

4月5日の幹事会はキャラクターデザインの審査がある。26日は査定の日で、その次は5月末。この最後の幹事会は全て決まっていなければいけない段階。

では、予備日を26日に設定する。

- ・ 書式についてはどうか。数値目標は単年度の数値目標はいらぬか。
4月8日提出は厳しい。月1回のミーティングで決めるとなると、もっとかかる。
では、査定の時間を短縮して、4月18日(月)提出とする。
戻って、数値目標は25年度でいいか。単年度はいらぬか。
本来ならば入れるべき。行動計画に結びつかない。

活動参加人数の年度は平成23年度か。

では、23年度活動参加目標人数と明記する。

数値目標は、平成25年度は入れないほうがいいか。中・長期の目標としてチーム毎に達成年度が違うのではないか。数値目標の平成25は取って、当面の3年間はこういうふうに活動するとローリングして、毎年作っていくということでもいいか。単年度ごとの数値目標をいれないと行動計画に結びつかないという意見があったが、それもなんらかの形で入れられれば入れたほうがいいと思うが。中・長期の目標を達成するための単年度の目標。監事からPDCAをまわしなさいという意見もあるので。

行動計画とその年の目標を入れてもらい、活動参加人数はその年だけとするか。

そのようにし、数値目標は自分たちで達成年度を入れてもらえばいいのでは。

単年度の目標は数値目標でなく？

PDCAがまわるかどうかのチェックのために使うのだから。数値目標を達成するために何をやるか。行動計画に書かれていることが目標ではいけないか。

中・長期の数値目標を達成するために、今年は事業者が30%とか、40%とか、そんな風に増えていくことを考えていたのだが。それを達成するために、23年度は市の担当者に働きかけたりするとか、そういうことだと思ふ。今までのことを踏まえ、単年度の数値目標をいれるか。

チームによって指標が違うから、とれる指標チームで作ってもらえば。

ならば、目標は出来る限りいれてもらうようにすれば。はっきり入れられるものは数値も入れて。

最低限の目標として、参加人数だけは必ず挙げてもらう。

出してきてもらった段階で、確認しやすい指標が他にあれば変えてもらうこともできると思ふ。

それでは、今までのいただいたご意見をもとに書式を直して、明日の朝メールで流すので確認いただきたい。

7 平成23年度総会について

- ・ 日程について、11日でもいいか。
提案だが、総会だけでなく、プラスアルファで何か出来ないかと考えた。会員が顔を合わせるのには総会だけなので、交流会みたいな形で何かできないか。場所がふれあい福祉センターで決まってしまうと、出来なくなることもあるので、ここで提案したい。確かに、そういうものも必要。他のプロジェクトの活動もじっくり聞きたい。活動報告はほんのわずかの時間だし。総会は総会で時間を切って、その後何かできればいい。活動発表にするととても時間がかかる。懇親会みたいにしたらどうか。
会場の使用料だけなら50人くらい入る部屋なら1万5,6000円くらいで済むと思ふ。(サンパルテ山王)
前は市役所の中でもやったことがあった。

では、日にちを決めて、懇親会をやるということでもいいか。会費制で。日は6月4日の午後、詳細はまた決めるということで。進行案については全体の流れはデザイン表彰式、総会、懇親会ということでもいいか。
応募者の紹介は応募者全員来てもらうのか。
賞の受賞者のみ。
また、詳細は今後詰める。

8 ニュースレター 23の企画案について

特になし

9 新入会員承認

特になし

その他

小山監事から、通年4回の講座を開きたいという旨の提案があった。詳細はまだ不明だが、まちづくり補助金へ出している講座と同じものなのかなど確認し、再度提案する。